

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

| | |
|------------|---|
| 調査テーマ | 革新的な挑戦を続けるデロイトの企業実態 |
| 調査日 | 2024年11月22日(金)13:00~15:30 |
| 調査先 | デロイトトーマツコンサルティング合同会社 (千代田区丸の内3-3-1新東京ビル・丸の内3-2-3二重橋ビルディング) |
| 担当 CVS | 松野 雄一郎、松橋 りさ、江戸 唯吹、永田 葉結希 |
| 授業科目/学部企画名 | 訪問調査「企業訪問」 |
| 参加学生数(学年) | 2年生:8名、1年生:23名 |
| 調査趣旨・目的 | デロイトで行われている、世界で活躍する人材を育成するための環境や育成プログラムを学びました。 |

| | |
|------|--|
| 調査結果 | <p>今回の訪問では、デロイトトーマツ コンサルティングの皆様にお話を伺い、企業の実態についてより深い理解を得ることができました。特筆すべきは、企業の担当者全員が中央大学のご出身であった点です。同じ大学に在籍する私たちにとって、親しみやすさを感じるとともに、同じ立場からの具体的なアドバイスは非常に貴重であり、大いに参考となりました。この点により、訪問がより有意義で身近なものになったと感じています。</p> <p>訪問は企業説明から始まりました。デロイトが手がける業務は非常に多岐にわたり、その実務の多様さは他の Big4(世界 4 大会計事務所)と一線を画すものであるとのことでした。特に、「チャレンジ精神」や「オーナーシップ」を大切にしているという、理念に基づく具体的な取り組みをいくつも紹介していただき、単なる情報としてではなく、実感を伴う形でその魅力を知ることができました。また、デロイトがいかにして世界的な業務ネットワークを活用し、クライアントに最適な解決策を提供しているのか、その手法についても触れられ、企業の国際的な影響力を実感しました。</p> <p>その後のパネルディスカッションでは、入社時の採用基準や入社後の人間関係、具体的な業務内容について伺いました。担当者の方々は、デロイトにふさわしい人材として「自ら課題を発見し、調査・分析を通じて論理的に答えを導き出せる主体性と自己解決能力」を挙げており、非常に印象的でした。このような能力が、幅広い業務を担当する上での強みとなることを理解しました。また、同窓の先輩方から直接伺った企業文化や働き方の実態は、セルフリサーチでは得られない貴重な情報でした。入社後の働き方としては、非常にフラットでオープンなコミュニケーションが重視されていることが強調され、社員が自由に意見を交換できる環境が整っていることが伝わってきました。</p> <p>社内見学では、オフィスやカフェテリアなど、モダンかつ格調高いデザインに一同感嘆しました。さらに、一面芝生のイベントスペースやフィットネスジム</p> |
|------|--|

などの施設が備わっており、外面的な充実ぶりからも企業理念が垣間見えました。これらの施設は社員の快適な働きやすさを支えるものであり、仕事とプライベートのバランスを大切にする企業文化が感じられました。加えて、社員の皆様が見せる生き生きとした眼差し、伸びやかな姿勢、そして活気に満ちた様子から、単に「モノ」だけでなく「ヒト」までもが洗練されていると感じられました。この点からも、デロイトが求める人材像が見えてきました。

今回の訪問を通じて、デロイトトーマツ コンサルティングとその業界についての深い理解を得ただけでなく、私たち自身の志す未来像を具現化するための大きなモチベーションを得ることができました。同じ中央大学から羽ばたいた先輩方に続くための努力を改めて誓う機会ともなりました。

※調査時の写真





最後に再度集合写真を撮影して締めくくりました。貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。